



染屋さんと織屋さんのお仕事



熟練の職人技を公開！

◆ 染の技！ 京友禅

糸目糊置

糊を筒紙に入れ、青花液で描かれた下絵の模様の輪郭線に沿って糊を置いていく工程



挿し友禅

色合わせした染料液を筆や刷毛で彩色する手描友禅の最も華やかで重要な工程



引染

模様の中の地色を染める工程で、刷毛に染料液を含ませ生地を均一又はぼかし染にする



型染

板に固定した布に型紙を正確に重ね、大小様々な刷毛で染料を摺り込み模様を染め上げる技法



無線友禅

糸目糊を使わず、色の混ざり合いや繊細な濃淡で模様を描き出す水彩画のような表現が特徴



地直し

色ムラやにじみを特殊な脱色剤や染料で補正する技法で品質を高め美しく仕上げる重要な工程



金彩

着物に金・銀の箔や粉を接着し豪華な輝きと立体感を与え、着物全体を華やかに彩る技法



紋上絵

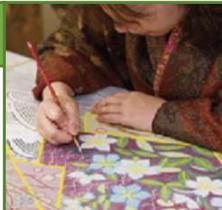
生地の色を抜いて白く染める染め抜きや刺繍により家紋を入れる技法



◆ 織の技！ 西陣織

紋意匠図

織物の設計図で、方眼紙に図案を写し、どのような組織で織るかを塗り分けていく工程



緋加工

糸を括り、多色に染め分けた緋糸を「はしご」でずらすことで、多彩な模様をつくりあげます。



整経

数千本の経糸を切ることなく正確に揃える技術は西陣織の美しさを支える重要な工程



つづれ織

職人が爪で一本一本糸を搔き寄せる「爪搔き」で、立体的で繊細な絵画のような模様を織ります。

